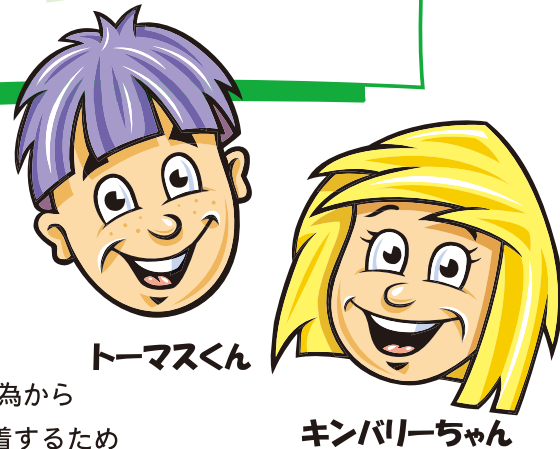


# チュビファーストと ウェットラップ Wet Wraps 手技

ウェット・ラップ手技は、アトピー治療に関して長い歴史を持つイギリスで確立されたアトピー性皮膚炎やアディック・ドライスキン患者などの皮膚の保湿効果を高め、薬物療法の経皮吸収促進によるセラミドケアへの早期移行を可能にし、冷涼感によって『かゆみ』・『不快感』を取り除く画期的な療法です。



トーマスクン

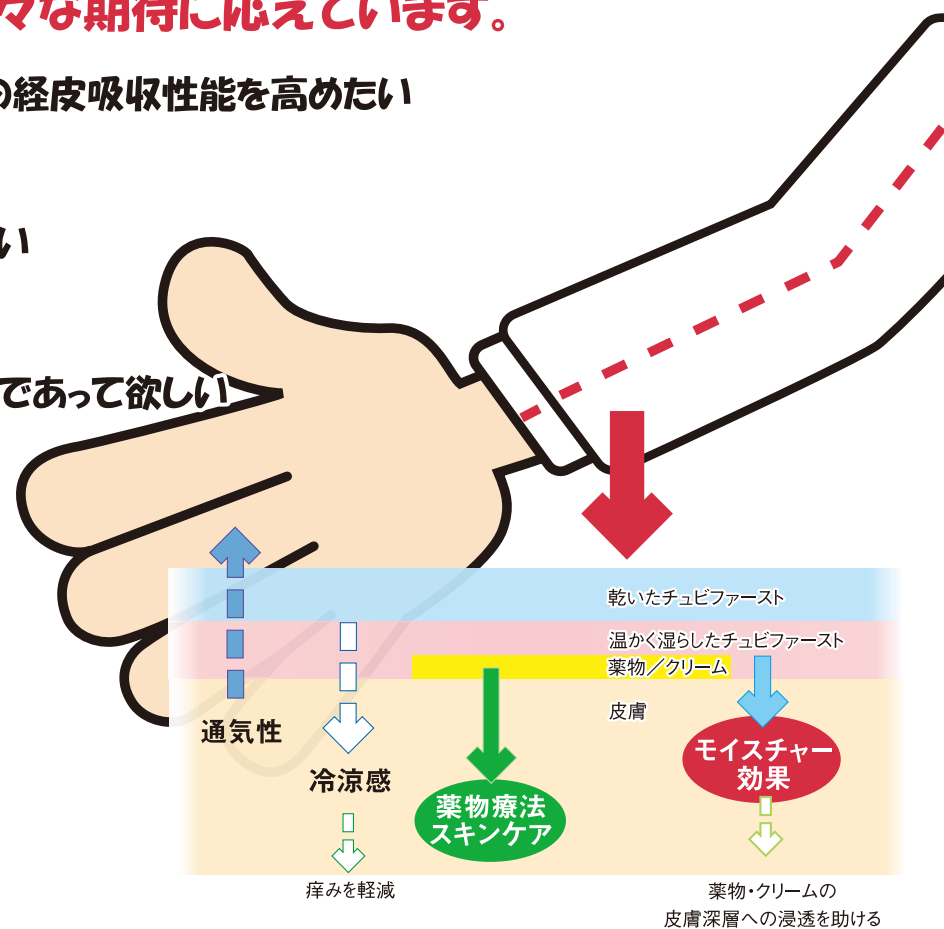
キンバリーちゃん

ウェット・ラップ手技は、患者に外用薬や保湿クリームを塗った上でチューブ型包帯を二重に装着して、炎症を起こしている皮膚をそう痒行為から保護する方法です。それぞれ温かく湿らせた層と乾いた層とを二重に装着するため固定を確実にし、皮膚表面の潤いを保つモイスチャー効果を高めつつ、衣服を汚さず日常生活の不快感を軽減することから、患者さんのQOL改善が期待できます。そして、ウェットラップ手技に最適なのがチュビファーストチューブ型包帯です。

## Wet Wraps 手技は、様々な期待に応えています。

- 薬剤や保湿剤等の有効成分の経皮吸収性能を高めたい
- 痒みを軽減させたい
- 皮膚炎部の掻き破りを防ぎたい
- 皮膚表面の保湿を保ちたい
- 毎日のことだから簡単な方法であって欲しい

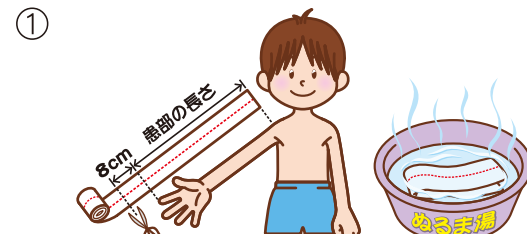
そして、チュビファーストはその期待をしっかりとサポートします。



# How To Use Tubifast

## チュビファーストの使い方

### 腕の装着例



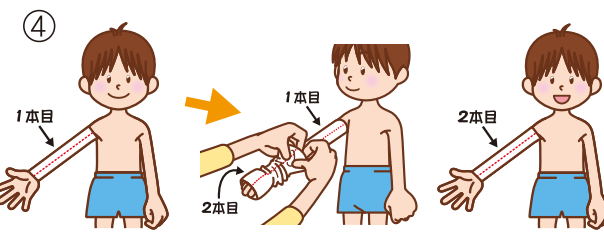
患部の長さに約8cmを加えた長さのチュビファーストを2本用意します。用意した1本をぬるま湯に浸しておきます。



薬物療法の場合、患部にはステロイド外用薬等を、ほかの部位には保湿クリームを満遍なく塗ります。セラミドケアの場合、被せようとする部位全体に保湿クリームを満遍なく塗ります。

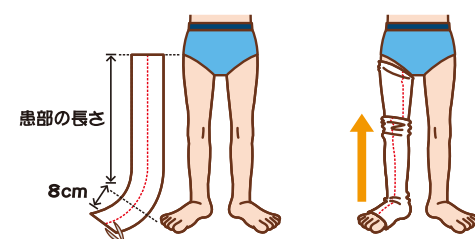


ぬるま湯あるいはお湯に浸したチュビファーストを軽く絞り、患部に着用します。



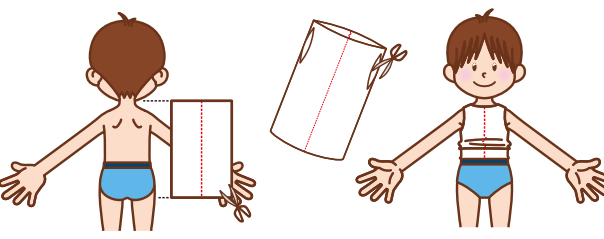
残りの乾いたチュビファーストをその上から2重に着用します。

### 脚の装着例



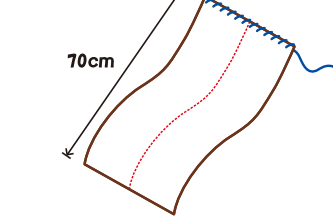
脚へ装着の場合も患部の長さに約8cmを加えたチュビファーストを2本用意してください。

### 胴体の装着例

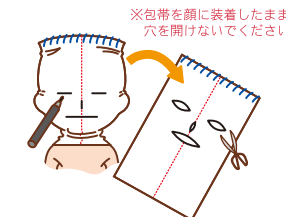


胴体の場合は肩から尻までの長さのチュビファーストを2本用意し、図のように両腕の位置に印を付け、腕が通るように穴を開けます。

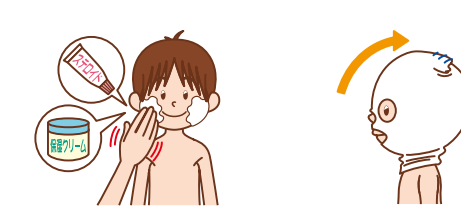
### 顔の装着例



顔へ装着の場合には、顔の幅に合わせてチュビファーストのサイズを選び、約70cmの長さにカットし、片方の端を縫い合わせてニット帽のようにしてください。または結び目を付けて縛り止めます。図のようにカットしたチュビファーストに目・鼻・口の位置の印を付け、穴を開けます。

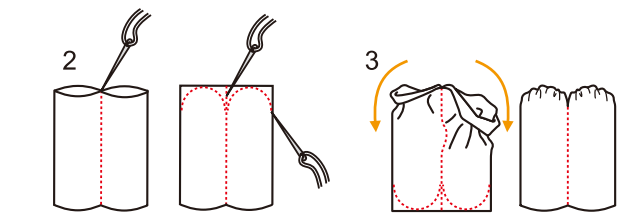


※包帯を顔に装着したまま穴を開けないでください。



### 指の装着例

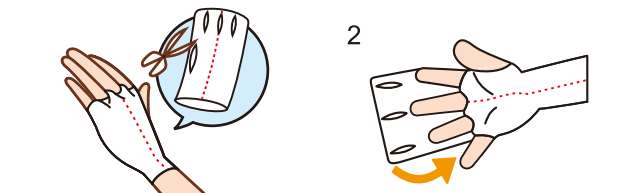
1. 指の長さのチュビファーストを用意します。



2. チュビファーストのカラーラインに沿って、図のように縫い合わせます。  
3. 縫い目部分を隠すために裏返し、完成です。

### B

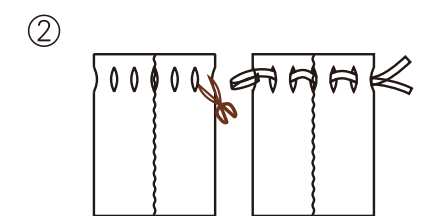
1. 手首から指先の長さに約5cmを加えたチュビファーストを用意します。



2. チュビファーストを装着し、親指、人差し指、中指、薬指の位置に印を付け、印にそって穴を開け、完成です。  
(手首に装着したまま穴を開けないで下さい。皮膚を傷つける恐れがあります。)

### 頭部の装着例

1. 頭の長さに約50cmの長さを加えたチュビファーストを用意します。

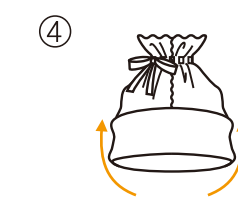


### 3



2. チュビファーストに紐を通せる程度の穴をいくつか開け、穴に紐を通します。  
3. 全ての穴に紐を通し終えたら、図のように束ね、縛ります。  
4. 紐の結び目を隠すためチュビファーストを裏返し、完成です。

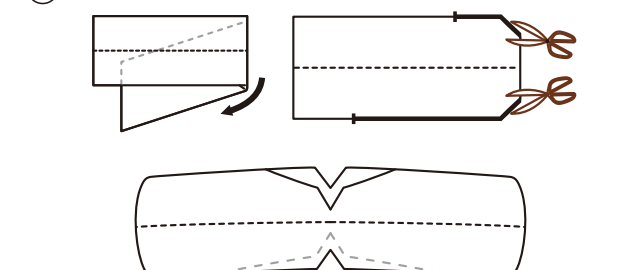
### 4



### 肩の装着例

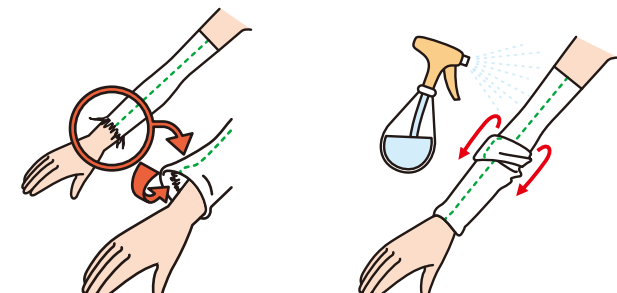
1. 両腕の肘から肘までの長さのチュビファーストを2本用意します。

### 2



2. 2本のチュビファーストを半分に折り、図のように首と胴体が入る程度の穴を開け、完成です。

### 包帯の取扱いについて

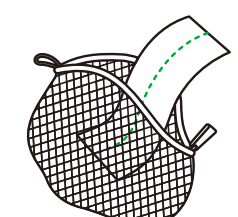


包帯のほつれが気になる場合は、図のように端を内側に折り込んでご使用ください。

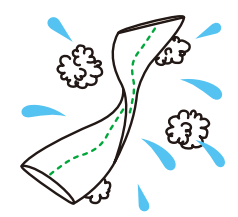
湿らせた包帯が乾燥した場合は、1本目の包帯を霧吹き等で再度湿らせてください。

### 洗濯方法について

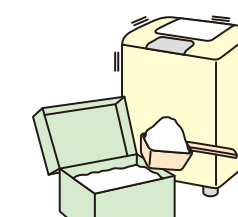
洗濯は手洗いをお勧めしておりますが、洗濯機をご使用の場合は以下の点にご注意ください。また包帯弾力性保持のため、乾燥機での乾燥は極力避けてください。乾燥機を使用される場合は、低温でご使用ください。漂白剤の使用も避けてください。



洗濯機をご利用の場合は、洗濯ネットに入れてください。



洗濯後、よくすすいでください。



洗濯洗剤をご使用ください。漂白剤のご使用は避けてください。